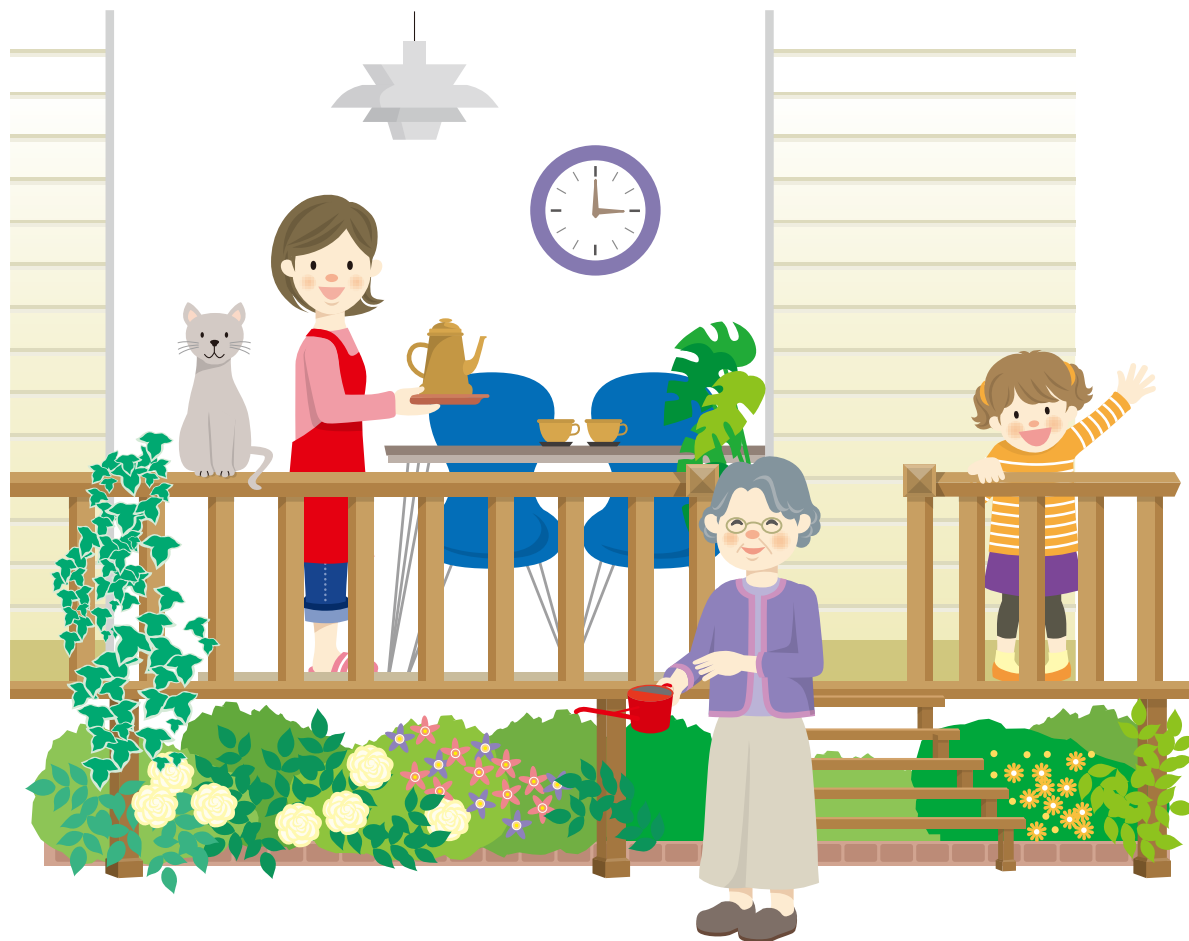


しんくみ 資産運用のご案内

お客さまの資産運用プランに、お役立ていただくため運用商品をご用意しました。
いろいろな夢や豊かな未来のために、しんくみで、はじめてみませんか。



人生にはいろいろな出来事があります。

ご結婚、車のご購入、お子さまのご入学、住宅のご購入、退職後のゆとりのあるセカンドライフ。

●老後資金だけでなく、ライフイベントには意外にお金がかかります

お客さまは、どのような目的で資産運用されますか。資産の運用を考える場合、事前にしっかりとした目標を立てて、運用設計をしていくことが大事です。

結婚資金の平均額は、新郎新婦あわせて678万円

結婚による主な支出平均額の一例	
婚約(結納金や結納式費用等)	152万円
挙式・披露宴	382万円
新婚旅行	72万円
新生活の準備(家具や電化製品等)	72万円

項目別平均額の合計

678万円

※ゼクシィ結婚トレンド調査2018
調べ/新生活準備調査2016(リクルートプライダール総研調べ)

住宅購入資金の平均額は、マンションで4,348万円

人生で最も大きな買い物である住宅の購入平均額は、

マンション

4,348万円

建売住宅

3,337万円

※住宅金融支援機構「フラット35利用者調査 2017年度調査結果」



結婚

出産

車の購入

子供の
教育費

住宅購入

親の介護

結婚援助費

退職後の
セカンドライフ

趣味

旅行



教育資金は、すべて私立なら平均2,314万円

1人のこどもを幼稚園から大学まで通わせる平均費用は、

すべて私立

2,314万円

すべて公立

797万円

※文部科学省「平成28年度子供の学習費調査の結果について」
日本学生支援機構「平成28年度 学生生活調査結果」

ゆとりある生活に必要な老後資金は、月額34.9万円

サラリーマン家庭の平均年金受給額は、夫婦で月額20.3万円。
ゆとりのためには、14.6万円の上乗せが必要です。

ゆとりある老後資金

34.9万円

公的年金収入

20.3万円

不足額

14.6万円

※1 生命保険文化センター「平成28年度生活保障に関する調査」
※2 厚生労働省「平成28年度厚生年金保険・国民年金事業の概況」

大切なお資産の運用方法を考えてみましょう。〈1〉

●貯蓄から投資へ

たとえば、年率1.0%の利回りで、複利運用する場合、元本を2倍にするのに約72年かかります。お金を2倍に殖やすことが、必ずしも運用の目的ではないかもしれませんが、なかなかお金は殖えないことがわかります。一方、インフレの怖さ考える必要があります。インフレ率が2%だとすると、200万円のモノは翌年204万円になっています。今年買えるモノが来年は買えないのです。

利回り	=	2倍になる年数
0.5%	=	約144年
1.0%	=	約72年
3.0%	=	約24年

物価上昇時に、何もしないと
お金の価値は目減りします。

60歳で定年を迎えたときに、2,000万円を毎月10万円ずつ取り崩していくとすると、17年後には無くなってしまいます。

65歳時点における平均余命と、それに基づく平均寿命

	男性		女性	
	平均余命	年齢	平均余命	年齢
平成29年	19.6年	84.6歳	24.4年	89.4歳

※厚生労働省「平成29年簡易生命表」より

●現在お持ちの金融資産を見直す基本的な考え方

お客さまの金融資産を、投資の目的や資金の性格によって以下の3つに分類してみましょう。

流動性重視
日常生活に必要な資金や、いざというときの資金。

安定性重視
使いみちや時期、金額などがはっきりしている資金。
◀ 5年以内 5年以上 ▶

収益性重視
当分の間使う予定のない余裕資金。

この部分を投資にまわして、利回り向上を目指してみてもいいですか？

ご提案する商品の1つに
投資信託があります。

大切なご資産の運用方法を考えてみましょう。〈2〉

●投資信託とは何か

多くのお客さま(投資家)の資金を集め、資金運用の専門家が株式や債券、不動産投資信託などに分散投資し、投資家はその運用成果を享受する仕組みです。ただし、運用成果がマイナスとなる場合があります。

投資信託
3つのメリット

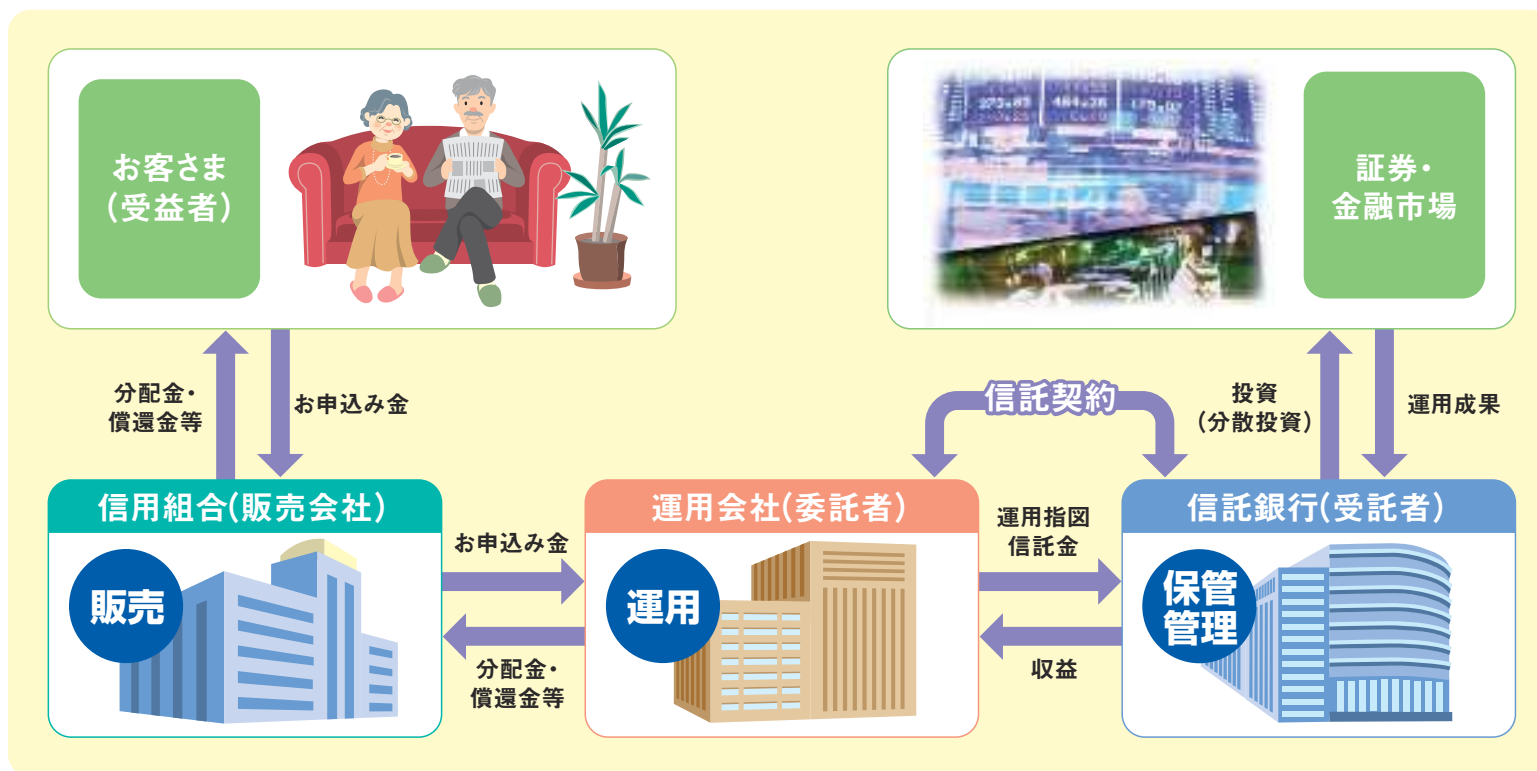
- 1 少ない金額から購入できます。
- 2 国内外の株式や債券、不動産投資信託などに分散して投資します。
- 3 投資の専門家が運用を行います。

●投資信託の仕組み

投資信託は、当信用組合、運用会社、信託銀行の3社が販売、運用、保管・管理を行うなどの役割を分担しています。

投資信託の運営に関わる
上記3社が破綻したとき

投資信託は、販売、運用、保管・管理業務の分担や金融機関の財産とお預りした財産を区分して保管(分別管理)することが法律で義務づけられているため、運営管理を行う会社が万一破綻しても信託財産は制度的に安全です。



投資についての基本知識を身につけましょう。〈1〉

●リスクとリターンについて

投資信託は主に値動きのある株式や債券、不動産投資信託などに投資しますので、高い収益(リターン)が期待できる反面、予測のつかない損失を被る場合もあります。投資の世界でリスクとは「予想通りにならない可能性」といったことを指します。



■投資信託が持つ主なリスク

価格変動リスク

株式等の価格が上下に変動するリスクです。

金利変動リスク

景気や政策等によって金利が変動するリスクです。一般的に金利が上がると債券価格は下がり、金利下がると債券価格は上がります。

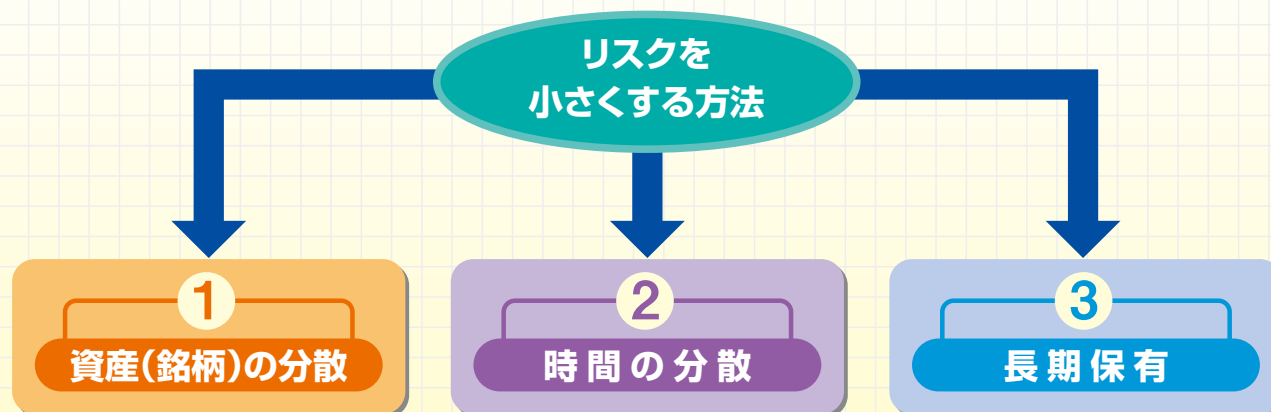
信用リスク

発行体(国や企業等)の経営状態が、株価等の価格に影響を与えるリスクです。発行体の経営状態によって、発行している株式等の価格が変動します。

為替変動リスク

日本円と外国為替(ユーロ・ドル等)との交換レートが変動するリスクです。海外の株式等に投資する投資信託は、一般的に為替が円安になると収益が増加し、円高になると収益が減少します。

■いくつかの手法を組み合わせることで、「リスク」を小さくすることができます。



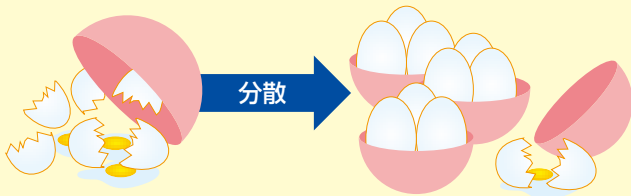
投資についての基本知識を身につけましょう。〈2〉

●リスクを小さくする方法

① 資産(銘柄)の分散

卵はひとつのカゴに盛るな(西洋の格言)

いくつかのカゴに分けておけば、ひとつのカゴを落としても、すべての卵を失うことはない。



	株式	債券	不動産
景気回復局面 金利反転	◎	□	○
景気拡大またはインフレ局面 金利上昇	○	△	◎
景気後退局面 金利反転	△	○	□
景気停滞またはデフレ局面 金利低下	□	◎	△

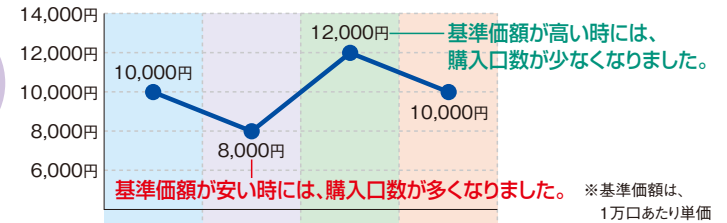
◎強い ○やや強い □やや弱い △弱い

※この図は過去の傾向からみた一般的な特徴であり、将来にわたって上記のような特徴が継続することを保証するものではありません。

② 時間の分散

価格の上下によらず一定金額を継続的に投資することで、一度に高値で買ってしまったり、安値で買い損ねることを避けることができます。

積立投資



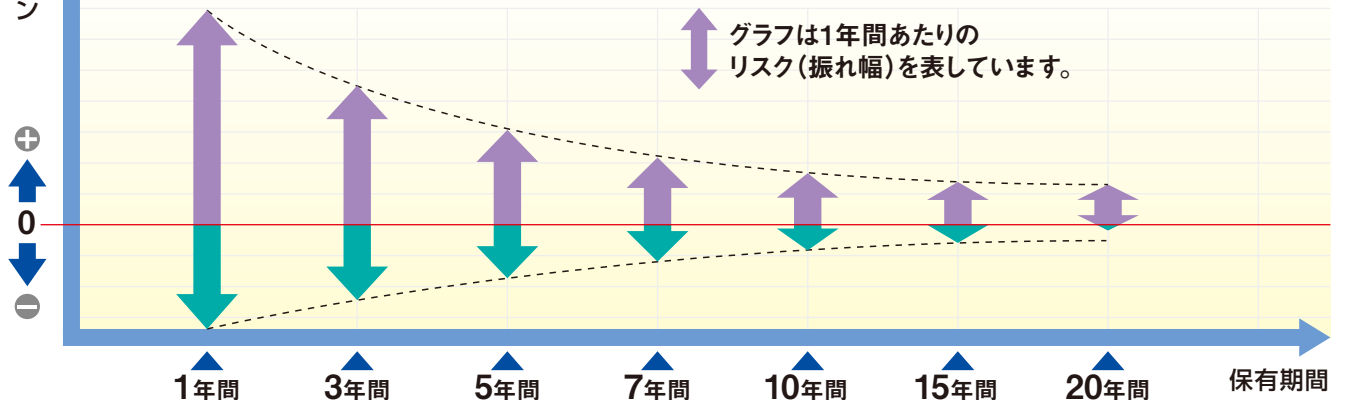
〈1万円〉ずつ購入した場合と 〈1万口〉ずつ購入した場合の比較

	1回目	2回目	3回目	4回目	合計	平均購入価格
基準価額	10,000円	8,000円	12,000円	10,000円		
〈1万円〉ずつ購入した場合	購入した口数	10,000口	12,500口	8,333口	10,000口	40,833口
	購入金額	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	40,000円
〈1万口〉ずつ購入した場合	購入した口数	10,000口	10,000口	10,000口	10,000口	40,000口
	購入金額	10,000円	8,000円	12,000円	10,000円	40,000円

※上記はあくまでシミュレーションであり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

③ 長期保有

長い期間をかけて運用することにより、短期的な市場変動の影響を小さくすることができるので、リスクの振れ幅が徐々に小さくなり安定していきます。



※このグラフは過去の傾向からみた一般的な特徴であり、将来にわたって上記のような特徴が継続することを保証するものではありません。

お客さまのお話をお聞かせください。

当信用組合では、お客さまの投資目的、運用期間などをお伺いし、お客さまにふさわしい商品をご提案させていただきよう努めてまいります。

リスク	投資目的	リスクの許容度をお考えください	運用期間	商品カテゴリー	特徴・リスク
0	元本割れは避けたい	収益性よりも、元本保証があることを条件とします。	1年～5年	定期預金	元本保証商品となります(1金融機関、1預金者あたり1,000万円までとその利息が保護されます。ただし、預金保険制度により全額が保護される「決済用預金」は、他の預金とは別に保護されます)。
			3年～10年	個人向け国債	国が発行し元本と利子の支払いを責任をもって行う「個人」の方を対象にした国債です。1万円から購入可能で、半年毎に年2回の利払いがあります。金利は、変動10年ものと固定5年・3年ものの3種類があります。個人向け国債は発行から1年間、原則中途換金はできません。
小	分配金や利金による安定的な収入とともに、値上がり益を追求	分配金や利金を重視するだけでなく、値上がり益も追求するため、相応の元本割れリスクも許容します。	5年以上の 余裕資金	債券型投信 (国内)	主として国内の公社債に投資する投資信託です。投資対象とする債券の発行国、種類(国債・社債等)や信用力はさまざまです。投資する公社債の発行体の財務状況の変化、金利動向等により基準価額は変動し「元本割れ」となるリスクがあります。
				債券型投信 (海外)	主として海外の公社債に投資する投資信託です。投資対象とする債券の発行国、種類(国債・社債等)や信用力はさまざまです。投資する公社債の発行体の財務状況の変化、金利動向、為替変動等により基準価額は変動し「元本割れ」となるリスクがあります。
				バランス型投信	内外の株式、債券等に幅広く投資を行う投資信託です。各資産への分散投資によるリスク低減が期待できます。投資する資産の値動きにより、基準価額は変動し「元本割れ」となるリスクがあります(外貨建て資産には為替変動リスクもあります)。
大	利回り、値上がり益を追求	積極的に利回り・値上がり益を追求するため、元本割れとなるリスクがある程度大きくても許容します。	5年以上の 余裕資金	不動産投信 (内外)	内外の不動産投資信託(リート)を投資対象とする投資信託です。所有不動産の収益状況や相場動向等により、基準価額は変動し「元本割れ」となるリスクがあります。
				株式型投信 (国内)	主としてわが国の株式を投資対象とする投資信託です。株価の値上がり益が期待できる一方で、大きな価格変動リスク等があります。投資する株式の値動きにより基準価額は変動し「元本割れ」となるリスクがあります。
				株式型投信 (海外)	主として海外の株式を投資対象とする投資信託です。株価の値上がり益が期待できる一方で、大きな価格変動リスク等があります。投資する株価の値動き、為替変動等により基準価額は変動し「元本割れ」となるリスクがあります。

※リスクの大小は一般的な傾向であり、実際にご投資された場合には異なることがあります。上記の図表は、当信用組合の取扱商品の主な投資対象、投資方針等をもとに当信用組合が独自に分類したものであり、各運用会社が行う分類とは関係ありません。取扱商品の個別の説明は、運用商品ラインアップを参照願います。

運用商品ラインアップ

国内	株式	インデックスファンド225 【設定・運用】日興アセットマネジメント 日経平均株価(225種・東証)※1に連動する投資成果を目指すため、大変わかりやすい商品設計になっています。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 2.2%(消費税込)
			【購入単位】 5千円以上1円単位	【信託報酬】 0.572%以内(年率・消費税込、純資産総額に対して)	
国内	株式	インデックスファンドTSP 【設定・運用】日興アセットマネジメント TOPIX(東証株価指数)※4に連動する投資成果を目指すため、大変わかりやすい商品設計になっています。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 2.2%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 0.572%以内(年率・消費税込、純資産総額に対して)	
国内	株式	ダイワ・バリュー株・オープン 【設定・運用】大和投資信託 国内の証券取引所上場株式の中から、取得時にPERやPBR※5などの指標または株価水準から割安と判断され、今後株価の上昇が期待される銘柄に投資します。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 お申込み金額に応じて0.55%~3.3%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 1.672%(年率・消費税込、純資産総額に対して)	
国内	株式	ダイワ好配当日本株投信(季節点描) 【設定・運用】大和投資信託 国内の証券取引所上場株式を主要投資対象とし、予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に、成長性、企業のファンダメンタルズ、株価の割安性等に着目し、高水準の配当収益の確保と、値上がり益の獲得を目指します。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 2.75%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 1.375%(年率・消費税込、純資産総額に対して)	
内外	株式	MHAM株式オープン 【設定・運用】アセットマネジメントOne 国内の優良成長株を中心に海外の株式にも投資し、ファンドの長期的な成長を目指します。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 2.2%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 0.803%~0.847%(年率・消費税込、純資産総額に対して。日々の基準価額の前期末基準価額に対する割合に応じて変動します)	
内外	株式	ロボット・テクノロジー関連株ファンド -ロボテック- ※為替ヘッジなし 【設定・運用】大和投資信託 日本を含む世界のロボット関連企業(ロボット・テクノロジーの開発や製造などにより、ビジネスを展開する企業)の株式に投資します。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 2.75%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 1.815%程度(含む投資対象とする投資信託証券0.5775%程度、年率・消費税込、純資産総額に対して)	
内外	株式	グローバル・フィンテック株式ファンド ※為替ヘッジなし 【設定・運用】日興アセットマネジメント 成長が期待される世界各国のフィンテック関連企業の株式を中心に投資を行うことにより、中長期的な信託財産の成長を目指します。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 2.75%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 1.925%(年率、消費税込、純資産総額に対して)	
内外	株式	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型) 【設定・運用】三菱UFJ国際投信 日本を含む世界主要先進国のソブリン債券に分散投資し、長期的に安定した収益の確保と信託財産の成長を目指します。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 お申込み金額に応じて1.1%~1.65%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 1.375%以内(年率・消費税込、純資産総額に対して)	
内外	債券	世界のサイフ 【設定・運用】日興アセットマネジメント 日本を除く経済協力開発機構加盟国およびこれらに準ずる国の通貨の中から高金利の10通貨を選定し、それらの通貨建ての短期債券などに投資し、毎月安定した収益分配を行うことを目指します。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 2.2%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 0.96905%程度(含む投資対象の投資信託証券0.25405%程度、年率・消費税込、純資産総額に対して)	
内外	債券	ドルマネーファンド 【設定・運用】アセットマネジメントOne 主に信用度の高い米ドル建ての短期国債等の米国短期金融商品に投資を行い、利子等収益の確保と為替益の獲得を目指して安定運用を行います。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 不要です
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 1.045%(年率・消費税込、純資産総額に対して)	
内外	債券	ニッセイ高金利国債ファンド 【設定・運用】ニッセイアセットマネジメント シティグループ世界国債インデックス(除く日本)に採用されている国のうち、相対的に金利水準が高い3か国程度の国債などに投資を行い、インカム・ゲインを中心とした収益の確保を目指します。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 2.2%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 1.21%(年率・消費税込、純資産総額に対して)	
内外	債券	ニッセイ高金利国債ファンド 【設定・運用】ニッセイアセットマネジメント シティグループ世界国債インデックス(除く日本)に採用されている国のうち、相対的に金利水準が高い3か国程度の国債などに投資を行い、インカム・ゲインを中心とした収益の確保を目指します。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 2.2%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 1.21%(年率・消費税込、純資産総額に対して)	

債券	海外	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)(年1回決算型) 【設定・運用】大和投資信託 オーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長を目指します。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 2.2%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 1.375%(年率・消費税込、純資産総額に対して)	
		【決算日】※2 毎月分配型:毎月15日 年1回決算型:毎年5月15日	【信託財産留保額】※3 不要です		
不動産投資信託	国内	明治安田外国債券オープン(毎月分配型) 【設定・運用】明治安田アセットマネジメント 日本を除く世界の債券に分散投資し、安定的なインカムゲイン(利息収益)の確保とともに信託財産の成長を目指します。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 1.65%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 1.265%(年率・消費税込、純資産総額に対して)	
		【決算日】※2 毎月7日	【信託財産留保額】※3 0.1%(基準価額に対して)		
バランス運用	内外	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型) 【設定・運用】アセットマネジメントOne 主として東京証券取引所に上場している東証REIT指数採用の不動産投資信託証券に投資を行い、東証REIT指数※6(配当込み)の動きに連動する投資成果を目指します。毎月の安定した収益分配に加え、6か月に一度、売買益(繰越分および評価益を含みます)等から収益分配を行うことを目指します。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 1.65%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 0.715%(年率・消費税込、純資産総額に対して)	
		【決算日】※2 毎月15日	【信託財産留保額】※3 0.3%(基準価額に対して)		
バランス運用	内外	GW7つの卵 【設定・運用】日興アセットマネジメント 世界各国の株式、債券から7つの資産(日本大型株式、小型株式、日本債券、北米株式、欧州先進国株式、アジア太平洋先進国株式、海外債券)を選び、国際分散投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 2.75%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 1.98%(年率・消費税込、純資産総額に対して)	
		【決算日】※2 毎年1月10日	【信託財産留保額】※3 不要です		
バランス運用	内外	スーパーバランス(毎月分配型) 【設定・運用】明治安田アセットマネジメント 日本を含む世界の6資産[国内外の債券、株式およびリート(不動産投資信託)]にバランスよく分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 2.2%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 1.43%(年率・消費税込、純資産総額に対して)	
		【決算日】※2 毎月9日	【信託財産留保額】※3 0.3%(基準価額に対して)		
バランス運用	内外	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ(奇数月分配型) 【設定・運用】大和投資信託 国内外の「債券」、「株式」、「REIT」に分散投資し、ファンドの安定と成長を目指します。インカム(利息・配当収入)確保を追求したアクティブ運用を行い、より高い収益を目指します。お客様の投資目的やライフスタイルにあわせた3コースからお選びいただけます。安定重視ポートフォリオ／内外債券中心、インカム重視ポートフォリオ／海外債券中心、成長重視ポートフォリオ／内外株式中心	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 2.2%(消費税込)
			【購入単位】 1万円以上1円単位	【信託報酬】 安定重視ポートフォリオ／1.32% インカム重視ポートフォリオ／1.4025% 成長重視ポートフォリオ／1.485% (年率・消費税込、純資産総額に対して)	
		【決算日】※2 奇数月の各10日	【信託財産留保額】※3 不要です		

自動積立専用ファンド※7

株式	国内	iFree 日経225インデックス 【設定・運用】大和投資信託 ・信託報酬が低く抑えられています。 ・日本株式に投資し、日本経済新聞社が算出する日本を代表する株価指数である日経平均株価(日経225)に連動させることを目指して運用されていますので、値動きがわかりやすい商品です。 ・証券投資のご経験が比較的少ない方でも取組みやすい商品です。	※8 つみたて NISA	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 不要です
			【購入単位】(自動積立により)1万円以上1千円単位	【信託報酬】 0.154%(年率・消費税込、純資産総額に対して)		
		【決算日】※2 毎年9月19日	【信託財産留保額】※3 不要です			
株式	国内	年金積立 Jグロース 【設定・運用】日興アセットマネジメント 主に、成長性が高く株主への利益還元が期待できる企業の株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用されています。ファンドマネージャーと企業アナリストが、直接企業を訪問し収集した情報・データをもとに投資銘柄を厳選し、TOPIX(東証株価指数)を上回る投資成果の獲得を目指します。	※8 つみたて NISA	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 不要です
			【購入単位】(自動積立により)1万円以上1千円単位	【信託報酬】 0.902%(年率、消費税込、純資産総額に対して)		
		【決算日】※2 毎年6月25日	【信託財産留保額】※3 不要です			
株式	海外	iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジなし) 【設定・運用】大和投資信託 ・信託報酬が低く抑えられています。 ・外国の株式に投資し、投資成果をMSCIコクサイ指数(円ベース)の動きに連動させることを目指します。	※8 つみたて NISA	分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 不要です
			【購入単位】(自動積立により)1万円以上1千円単位	【信託報酬】 0.209%(年率・消費税込、純資産総額に対して)		
		【決算日】※2 毎年11月30日	【信託財産留保額】※3 不要です			

iFree 8資産バランス 【設定・運用】大和投資信託

・信託報酬が比較的安く抑えられています。
 ・日本、先進国、新興国の株式・債券、および日本と海外のリート(不動産投資信託)の8つの資産に分散投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用されています。

※8
つみたて
NISA

分配金再投資コース	分配金受取コース	【購入手数料】 不要です
【購入単位】 (自動積立により) 1万円以上1千円単位		【信託報酬】 0.242% (年率、消費税込、純資産総額に対して)
【決算日】 ※2 毎年9月7日		【信託財産留保額】 ※3 不要です

※1 日経平均株価(日経225)に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。

※2 決算日が休業日の場合は、翌営業日になります。

※3 信託財産の換金時に発生する換金代金の手当てに必要なコスト等について、お客さま(受益者)間の公平性を確保するためにご負担いただくものです。

なお、手数料ではありませんので、消費税は必要ありません。

※4 東証株価指数に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

※5 PER(株価収益率)とは、株価がその会社の税引後1株当り純利益の何倍になっているかを示す指標。PBR(株価純資産倍率)とは、株価がその会社の1株当り純資産の何倍になっているかを示す指標です。

※6 東京証券取引所に上場している不動産投資信託(REIT)の全銘柄を対象とした時価総額加重平均の指数です。不動産投資信託(REIT)とは、お客さま(投資家)から資金を集め、主に賃料収入が得られる不動産に投資し、そこから得られる賃料収入や不動産売却益をお客さま(投資家)に配当する商品です。

※7 自動積立サービスに基づく購入の対象ファンドです。つみたてNISA以外でも購入できます。

※8 ファンド名の欄に「つみたてNISA」のマークがあるファンドは、つみたてNISAの対象ファンドです。

投資信託のご購入からご換金まで

証券振替決済口座の開設

- 口座開設に必要な次の書類等をご用意のうえ、当信用組合の取扱店にご来店ください。

【ご用意いただくもの】

- ①当信用組合の普通預金通帳
- ②ご印鑑
- ③個人番号確認書類(通知カード等)
- ④本人確認書類(免許証等)

購入のお申込みおよび購入代金のお支払い

- 購入申込書にご記入・ご捺印のうえ、購入代金をお支払いいただきます。
- 購入のお申込みの翌日以降、「取引報告書」をご送付いたします。

投資信託の決算

- 決算日以降に「運用報告書」をご送付いたします。決算期間が6か月未満の商品については、6か月に1度ご送付いたします。

分配金のお支払いまたは再投資

- 分配金受取コースの場合、原則として決算日から5営業日までにお支払いいたします。
- 分配金再投資コースの場合、決算日翌日に再投資を行います。

お預り残高の報告

- お客さまの投資信託お預り残高を、定期的に「取引残高報告書」によりご報告いたします。

ご換金のお申込みおよび代金のお支払い

- 解約申込書にご記入・ご捺印のうえ、原則としてご換金申込日から4営業日以内(商品により異なる場合があります)にお支払いいたします。

※商品によっては換金できない期間や、換金申込みの受付時間が異なりますので、詳しくは当信用組合の窓口にご照会ください。

投資信託の償還

- 償還の際には、「償還金のご案内」をご送付いたします。償還金は、償還日から原則として5営業日までにお支払いするとともに、「償還報告書」をご送付いたします。

「取引報告書」とは

お客さまから投資信託のご購入・ご換金の注文をいただいた際、その注文が成立したことを当信用組合からお知らせするもので、お取引いただいた内容をご確認できます。原則お取引の都度ご報告いたします。

取引日	取引種別	取引金額	決済日	決済金額	残高
2023.11.15	購入	1,111,000	2023.11.15	1,111,000	1,111,000
2023.11.15	手数料	1,000	2023.11.15	1,000	1,110,000
2023.11.15	消費税	11,000	2023.11.15	11,000	1,100,000

●取引後個別元本

お取引していただいた後の個別元本を記載しています。
※「個別元本」については11ページの用語解説をご参照ください。

●取引後取得単価

お取引していただいた後の取得単価を記載しています。
※「取得単価」については11ページの用語解説をご参照ください。

●約定金額

数量に単価を掛けた金額を記載しています。

●諸経費合計

お取引に要した手数料および消費税の合計金額を記載しています。

●手数料

諸経費合計の内訳として手数料を記載しています。

●消費税

諸経費合計の内訳として消費税を記載しています。

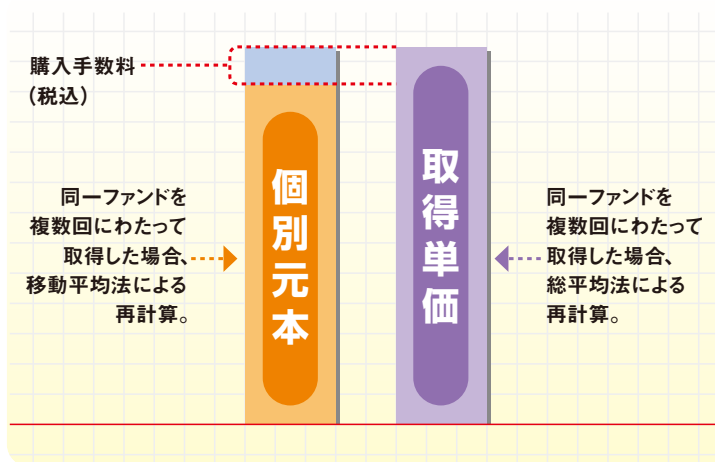
知っておきたい基礎用語<1>

個別元本

追加型投資信託において、お客さまが保有されているファンドごとの購入元本(一般に、購入時の基準価額)で、分配・解約・償還時の税額計算の基礎となります。同一ファンドを複数回購入した場合には、その都度個別元本が移動平均法による再計算で変更されます。また、元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合にも変更されます。

取得単価

個別元本に購入時の手数料を含めた価格で、解約時の税額計算の基礎になります。同一ファンドを複数回購入した場合には、総平均法による再計算で変更されます。



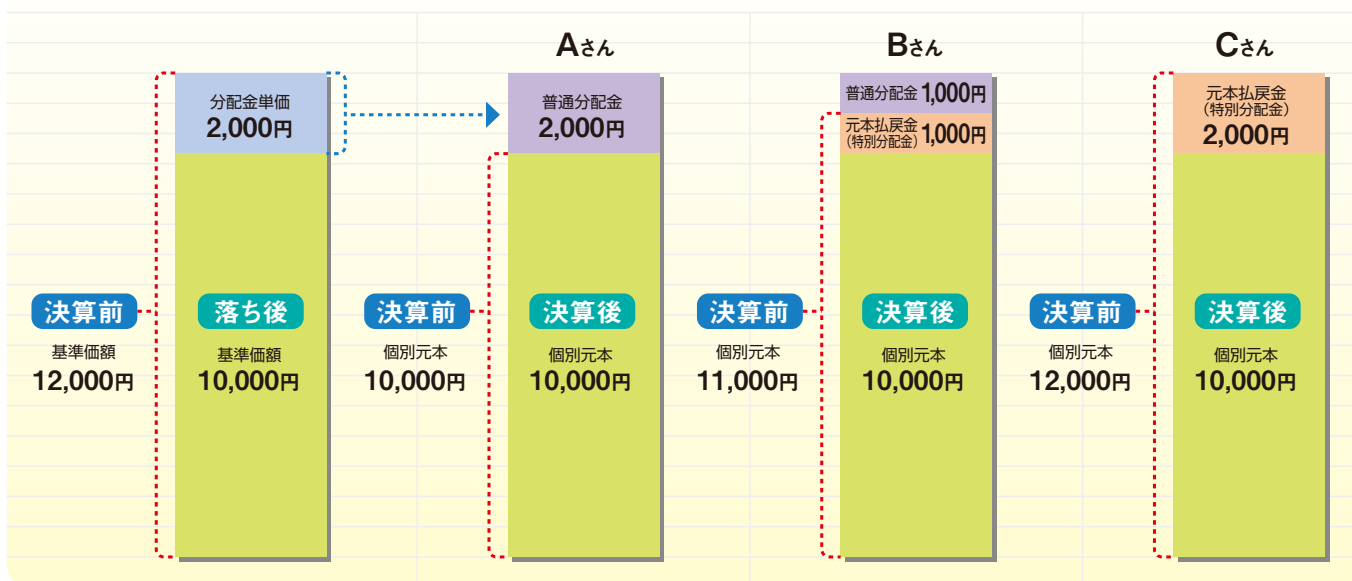
普通分配金と元本払戻金(特別分配金)

分配金には「普通分配金」と「元本払戻金(特別分配金)」の2種類があります。ファンドの決算時に、分配金を払い出した後の基準価額(落ち後基準価額)がお客さまの個別元本(決算前個別元本)と同額または上回る場合、分配金全額が「普通分配金」となります。一方下回る場合は、分配金の範囲内で下回る部分に相当する金額を「元本払戻金(特別分配金)」、残りの金額が「普通分配金」として区分されます。「普通分配金」は課税扱いとなりますが、「元本払戻金(特別分配金)」はお客さまの元本を払い戻したことに相当するため非課税扱いとなります。

決算後個別元本

「元本払戻金(特別分配金)」を受取った場合、決算前個別元本から「元本払戻金(特別分配金)」を控除した金額が、決算後個別元本となります。

■ファンドの状況/決算前基準価額12,000円、分配金単価2,000円、落ち後基準価額10,000円と仮定した場合



知っておきたい基礎用語〈2〉

基準価額

投資信託の値段のことです。投資信託に組み入れている株式や債券などをすべて日々評価し、債券の利息や株式の配当金などの収入を加えて資産総額を算出します。そこからファンドの運用に必要な費用などを差し引いて純資産を算出し、さらにその時の受益権口数で割ったものが基準価額です。

特定口座

上場株式や投資信託等の譲渡所得の年間損益を、投資家に代わって金融機関が管理する口座を特定口座といいます。特定口座には、譲渡益にかかる所得税・住民税を金融機関が代行して源泉徴収する方法と、金融機関が作成する年間取引報告書を使い、投資家自身が簡易な方法で確定申告する方式の2つがあります。

目論見書

投資信託の各商品ごとに作られている説明書のことです。ファンドの仕組み、性格および特色、運用体制、投資リスク、申し込み・換金手続き、手数料などの費用、税金などを詳しく説明しています。目論見書には投資家にあらかじめまたは同時に交付される「交付目論見書」と投資家からの請求があった場合にのみ交付される「請求目論見書」があります。

運用報告書

投資信託がどのように運用され、その結果どうなったかを受益者（投資家）に報告する説明書です。この中では基準価額、配当金の状況や今後の運用方針などが詳しく説明されています。

信託財産

投資信託は、多くの投資家から集められたお金を運用の専門家である運用会社（委託者）が、株式や債券などを対象に証券・金融市場で運用しますが、そのまとまった資産のことを信託財産といいます。

信託財産留保額

償還時まで投資を続ける投資家との公平性の確保や、ファンドの残高の安定的な推移を図るため、解約時に徴収される費用のことです。ファンドによっては、一切徴収しないもの、保有期間によって軽減するもの、一定期間保有すれば徴収されないものなどさまざまです。

信託報酬

投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。信託財産の中から、運用会社（委託者）・信託銀行（受託者）・信用組合（販売会社）へ間接的に支払われます。その割合および額は、「交付目論見書」や「運用報告書」の費用の項目に記載されています。

購入手数料

投資家が投資信託を購入する際、信用組合（販売会社）に支払う手数料を購入手数料といいます。なお、購入手数料はファンドごとに異なっています。



※本資料の内容は、2019年10月時点の税制にもとづいて作成しています。今後の税制改正に伴い内容が変更となる可能性があります。

ご購入の際の留意事項

●投資信託

- 投資信託は、預金ではありません。
- 投資信託は、預金保険の対象ではありません。
- 投資信託は、預金と異なり元本および利回りの保証はありません。
- 当信用組合で取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当信用組合は、ご購入・ご解約（換金）のお申込みについて取扱いを行っております。投資信託の設定・運用は各運用会社が行います。
- 投資信託の運用による利益および損失は、投資信託をご購入いただいたお客さまに帰属します。
- 投資信託の基準価額は、組入れ有価証券（株式・債券等）の値動きにより変動しますので、投資元本を割り込む場合があります。
- 組入れ有価証券（株式・債券等）の価格等は、経済情勢・金利動向・その有価証券の発行者の信用状態の変化や、取引が十分な流動性のもとで行えない状況（流動性リスク）等により変動しますので、投資元本を割り込む場合があります。
- 外貨建て資産に投資するものは、この他に通貨の価格変動（為替変動リスク）により基準価額が変動しますので、投資元本を割り込む場合があります。
- 投資信託のご購入から換金・償還までの間に直接または間接にご負担いただく費用には次のものがあります（当信用組合で販売中の追加型投資信託の上限を表示しています）。
 - 購入手数料（申込金額等に応じ、基準価額に対して、最大3.3%〈消費税込〉）
 - 信託報酬（信託財産の純資産総額に対して、最大年率1.98%〈消費税込〉）
 - 信託財産留保額（換金時の基準価額に対して、最大0.5%）
 - 監査費用・売買委託手数料等その他費用実際の費用の種類・額および計算方法は、ファンドにより異なります。また、その保有期間・運用状況等により期中の手数料等が変動するファンドもありますので、事前に料率、上限額等をお示しすることができません。その詳細は、各ファンドの「交付目論見書」および「目論見書補完書面」でご確認ください。
- 当資料は、当信用組合が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 投資信託のご購入に際しては、必ず最新の「交付目論見書」および「目論見書補完書面」により商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 「交付目論見書」および「目論見書補完書面」は、当信用組合の本支店の投資信託取扱窓口にてご用意しております。

●個人向け国債

- 個人向け国債のご購入に際しては、必ず最新の「契約締結前交付書面」および「商品パンフレット」により商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 個人向け国債は発行日から1年間、中途換金は原則できません。
- 個人向け国債のご購入から換金・償還までの間に直接または間接にご負担いただく費用には次のものがあります。
 - 購入手数料、換金・償還手数料は不要です。
 - 口座管理料：1年間に最大1,320円（消費税込）の口座管理料を頂戴することがあります。詳しくは、当信用組合の窓口にご照会ください。

■お申込みと資産運用のご相談は



銚子商工信用組合

登録金融機関登録番号：関東財務局長(登金)第289号

本店所在地：〒288-0043 千葉県銚子市東芝町1-19

加入金融商品取引業協会：ありません

当信用組合への連絡方法：銚子商工信用組合 資金経理部 TEL.0479-22-5335